



2009年4月17日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
 東京都港区芝浦1-1-1
 代表者名 代表執行役社長 西田 厚聰
 (コード番号: 6502 東、大、名)
 問合せ先 広報室長 長谷川 直人
 Tel 03-3457-2100

業績予想の修正に関するお知らせ

2008年度通期の業績予想について、前回予想(2009年1月29日公表)を修正し、次のとおりいたします。

記

1. 修正の内容

(単位: 百万円)

(1) 連 結

	売上高	営業損益	税引前損益	当期純損益
前回予想 (A)	6,700,000	△280,000	△330,000	△280,000
今回修正 (B)	6,650,000	△250,000	△280,000	△350,000
変動幅 (B-A)	△50,000	+30,000	+50,000	△70,000
増減率	△0.7%	—	—	—
前期実績	7,665,332	246,393	265,049	127,413

(注) モバイル放送は2008年度末において非継続事業になった為、2007年度の業績値を組み替え表示しています

(2) 単 独

	売上高	経常損益	当期純損益
前回予想 (A)	3,250,000	△120,000	△100,000
今回修正 (B)	3,210,000	△60,000	△125,000
変動幅 (B-A)	△40,000	+60,000	△25,000
増減率	△1.2%	—	—
前期実績	3,685,612	77,429	69,211

2. 理 由

連結決算については、前回予想に対しテレビの損益改善、システムLSI、メモリの売上増による改善があり、営業損益は改善したものの、地方税に係る当社(単独)の繰延税金資産の取崩し(評価引当金の計上)を約85,000百万円追加で行ったため純損益が悪化したものです。

単独決算については、受取配当金の増加等により前回予想より経常損益が改善しましたが、連結決算と同様地方税に係る当社(単独)の繰延税金資産の取崩しにより純損益が悪化したものです。

以 上

* (注意事項)

本文書に記載されている事項には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく当社の予測です。実際の業績は、多様なリスクや不確実性により、当社の予測とは大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。なお、リスクのうち主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

- ・ 国内外における訴訟その他争訟
- ・ 当社グループが他社と提携して推進する事業の成否
- ・ 新規事業、研究開発の成否
- ・ 国内外の政治・経済の状況、各種規制等
- ・ 地震、台風等の大規模災害
- ・ 主要市場における製品需給の急激な変動及び価格競争の激化
- ・ 生産設備等に対する多額の資本的支出と市場の急激な変動
- ・ 金利為替等の金融市場環境の変化